

# 薬用植物園だより

2023年

9月

ナツメヤシ (デーツ Dates) と間違わないで!!

ナツメ (クロウメモドキ科)



*Ziziphus jujuba* Miller var. *inermis* Rehder

部位	果実
生薬名	大棗 (タイソウ) <b>局方収載</b>
成分	果糖、ブドウ糖、中性または酸性多糖類 ジジフスサポニン-I-III など
薬理	NK細胞活性増強作用、抗アレルギー作用
薬能	健脾薬、補気薬、安神薬
漢方	葛根湯、六君子湯、甘麦大棗湯 など

南ヨーロッパからアジア西南部原産の説がありますが、おそらく中国原産の落葉小高木。6月頃に黄緑色で5mmほどの小さな目立たない花をつけます。9月頃から一部茶褐色に色づき始めた実はそのまま食べられリンゴのような食感とほのかな甘みがあり美味しいです。完熟するとスカスカになり、生食には向きません。多くの品種があり、果実が大きく、甘味の強いものが良品とされます。本園のナツメは果実の大きさが小さいように思います。生薬としては、完熟直前の果実が収穫されます。葛根湯をはじめ、多くの漢方薬に配合されています。一方、ナツメは薬膳やドライフルーツとしても有名ですが、中東や北アフリカなどのデーツ (ナツメヤシ) は、形や色はよく似ていますが、ヤシ科の植物で、ナツメとは全く異なる植物です。

サネブトナツメ (クロウメモドキ科) **原種に近く、鋭いトゲに注意！安眠効果に期待!!**

*Ziziphus jujuba* Miller var. *spinosa* Hu ex H. F. Chow

部位	種子
生薬名	酸棗仁 (サンソウニン) <b>局方収載</b>
成分	ジュジュボシドA-C、スピノシン など
薬理	抗腫瘍作用、記憶障害改善作用
薬能	滋陰薬、安神薬
漢方	酸棗仁湯、加味帰脾湯 など



上記のナツメと比較して、本植物は野生種に近く、枝に托葉から変化した細い鋭いトゲが多く、果実が小型で球状です。果肉と比較して核の部分が大きいため、核太 (サネブト) であることが和名の由来です。ナツメの学名「*inermis*」はトゲが少なく無防備な、サネブトナツメの「*spinosa*」はトゲがあるという意味です。また、果肉は酸味が強く甘みが少ないため、酸っぱいナツメの意味で生薬名は酸棗仁と呼ばれます。しかし、生薬に使用する種子は酸っぱくありません。漢方薬には、漢方の睡眠薬とも呼ばれている酸棗仁湯などに配合され、眠りが浅く、よく目が覚める症状にはよく効くといわれています。



サネブトナツメ

ナツメ



ホームページでも  
ご覧いただけます